

カリキュラム

(B)生涯キャリア形成

役割の変化への対応

フォロワーシップによる組織力の向上

コースのねらい

中堅・ベテラン従業員が組織形態や管理者の役割等を理解し、職場の組織力向上のためのチームをアシストするための知識と技能を習得する。

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	職場の目標	(1)フォロワーがつくるリーダーシップ 「フォロワーは、リーダーに従う受動的な存在である」という誤解を解き、リーダーシップの成立にはフォロワーの承認が欠かせないこと、組織はリーダーシップだけでは機能しなくなっていることなどを確認する。 (2)中堅・ベテラン従業員に期待される役割 中堅・ベテラン従業員になると、組織貢献への期待が高まります。組織からの期待を理解し、自分自身の立場や役割を再認識します。	1.0
	2	職場内の関係構築	(1)チームワークを高める技術 チームビルディングをリーダーに頼るだけでなく、フォロワーとして取り組むべき活力あるチームづくりのポイントを解説する。 (2)チーム活動の実践【演習あり】 フォロワーシップの発揮、チームワークを高める技術を実践する場として、チーム活動演習に取り組む。 (3)職場で求められるコミュニケーションスキル【演習あり】 円滑な職務遂行のために求められる「正確なコミュニケーション」「説得力あるコミュニケーション」「共感を呼ぶコミュニケーション」を確認する。	3.5
	3	フォロワーシップ	(1)フォロワーシップの発達段階【演習あり】 3つのフォロワータイプ(受動的忠実型・能動的忠実型・統合型)を解説したうえで、自分が現状どのタイプなのかを振り返る。 (2)フォロワーシップの発達【演習あり】 統合型フォロワーに成長するために求められる思考や行動を確認する。	1.5
			合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント

フォロワーシップは、目に見えない「概念」であるため、「何となく理解はできたが、どうすれば良いのかわからない」となりがちな学習テーマです。本カリキュラムの「チーム活動の実践」では、模擬工場のチーム作業を通じて、チーム活動においてフォロワーに求められる役割や行動を学んでいただきます。考え方として理解した「フォロワーシップ」を、具体的な行動レベルに落とし込んでいただくように工夫したカリキュラムです。また、チーム活動の振り返りの中で反省点として出されることが多い「コミュニケーション技術」も組み込み、学習の必要性を実感したところで学んでいただけるように工夫しています。

講師から一言

フォロワーシップは、年齢や経験に関係なく組織で働く全ての人に必要な能力です。コミュニケーションスキルと合わせて、ぜひ身につけましょう。